

平成24年8月2日

上場取引所 東大福

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社

コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉松 民雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長兼財務部長

(氏名) 角町 誠

TEL 092-641-8585

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

平成24年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	184,300	△3.0	3,157	△47.5	3,086	△48.7	1,003	△57.5
23年12月期第2四半期	189,933	12.3	6,014	369.8	6,016	318.3	2,363	191.5

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 1,114百万円 (△31.1%) 23年12月期第2四半期 1,617百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	10.03	—
23年12月期第2四半期	23.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	339,495	226,845	66.7
23年12月期	342,560	227,864	66.4

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 226,494百万円 23年12月期 227,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
24年12月期	—	20.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	392,800	△1.7	14,700	△10.7	14,800	△7.8	7,400	5.8	74.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	111,125,714 株	23年12月期	111,125,714 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	11,154,569 株	23年12月期	11,153,881 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	99,971,496 株	23年12月期2Q	99,973,100 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。なお、平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年2月7日に公表いたしました業績予想から修正しております。業績予想に関する事項につきましては、[添付資料] P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の盛り上がりや、個人消費の緩やかな増加により、景気は回復しつつあります。しかし、福島第1原発事故に端を発した電力供給問題の影響は継続しており、また、欧州の政府債務危機を巡る不確実性が再び高まりを見せるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、昨年の東日本大震災の影響の反動から市場成長はプラスとなったものの、消費者の節約志向の継続に伴う低価格化の影響などにより、清涼飲料各社間での激しい販売競争は継続しており、清涼飲料各社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しております。

このような経営環境の中、当社グループは、「長期経営構想2020」の第1ステップ「革新と成長の3年」の2年目である平成24年度の経営方針を、『お客さま起点による戦略を市場で着実に実行し、収益・ボリューム/シェアの持続的成長を図る』とともに、『「ビジネスモデルの8つの変革」を実行に移し、中長期的視点での経営基盤の確立を図る』こととし、それによって経営目標を達成するとともに将来に亘って成長を続け、収益力を高める基盤づくりを進めております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

<売上高>

清涼飲料事業においては、販売数量はほぼ前年通りとなりましたが、消費者の節約志向の継続および天候不順の影響による販売構成の変化により、売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ63億2千2百万円減少し、1,658億5千3百万円（前年同期比3.7%減）となりました。一方、健康食品事業においては、スキンケア商品の販売が好調であった影響等により、売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ14億9千4百万円増加し、184億4千7百万円（同比8.8%増）となりました。これにより、セグメント合計の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ56億3千3百万円減少し、1,843億円（同比3.0%減）となりました。

<営業利益>

清涼飲料事業においては、売上高の減少に加え、原材料・資材価格高騰の影響等により、営業利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ35億3千万円減少し、4億2千万円（同比89.4%減）となりました。一方、健康食品事業においては、売上高増加の影響等により、営業利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ6億8千5百万円増加し、27億3千7百万円（同比33.4%増）となりました。これにより、セグメント合計の営業利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ28億5千7百万円減少し、31億5千7百万円（同比47.5%減）となりました。

<経常利益および四半期純利益>

営業利益の減少を主要因として、経常利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ29億2千9百万円減少し、30億8千6百万円（同比48.7%減）となりました。また、経常利益の減少を主要因として、四半期純利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ13億6千万円減少し、10億3百万円（同比57.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ30億6千5百万円減少し、3,394億9千5百万円（前連結会計年度比0.9%減）となりました。これは主に、法人税等や配当金の支払いに充当するための譲渡性預金の償還に伴う有価証券の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ20億4千5百万円減少し、1,126億4千9百万円（同比1.8%減）となりました。これは主に、法人税等の支払いおよび長期借入金の約定返済によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10億1千9百万円減少し、2,268億4千5百万円（同比0.4%減）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、12億2千8百万円の収入（前年同期160億1千7百万円の収入）となりました。たな卸資産および仕入債務の増減による運転資金の支出が103億円増加したことや、法人税等の支払額が13億5千2百万円増加したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ147億8千8百万円の減少となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億1千5百万円の支出（前年同期73億8千4百万円の支出）となりました。当第2四半期連結累計期間において、譲渡性預金の償還等による208億1千1百万円の収入があったことなどにより、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ65億6千8百万円の増加となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、37億1千万円の支出（前年同期47億9千万円の支出）となりました。リース債務の返済による支出が減少したことにより、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ10億7千9百万円の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ32億9千6百万円減少し、312億6千7百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、消費者の節約志向の継続および天候不順の影響により、営業利益、経常利益、四半期純利益は計画を下回りました。この状況を受け、コスト削減など種々の活動計画の見直しを図りましたが、平成24年12月期の通期の業績予想につきましては、平成24年2月7日に公表いたしました業績予想を修正しております。

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	391,500	16,700	16,800	9,100	91円02銭
今回修正予想（B）	392,800	14,700	14,800	7,400	74円02銭
増減額（B－A）	1,300	△2,000	△2,000	△1,700	
増減率（％）	0.3	△12.0	△11.9	△18.7	
（ご参考）前期実績 （平成23年12月期）	399,717	16,469	16,044	6,997	69円99銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,208	22,831
受取手形及び売掛金	25,335	27,180
有価証券	26,738	14,904
商品及び製品	21,954	28,857
仕掛品	464	570
原材料及び貯蔵品	1,450	2,875
その他	18,550	19,345
貸倒引当金	△504	△546
流動資産合計	119,197	116,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,525	33,743
機械装置及び運搬具（純額）	20,497	20,297
販売機器（純額）	20,820	22,440
土地	52,774	52,598
建設仮勘定	395	2,563
その他（純額）	2,204	1,905
有形固定資産合計	130,218	133,548
無形固定資産		
のれん	47,474	46,045
その他	4,723	4,924
無形固定資産合計	52,198	50,969
投資その他の資産		
投資有価証券	24,583	24,464
前払年金費用	5,827	5,229
その他	11,109	9,827
貸倒引当金	△574	△561
投資その他の資産合計	40,946	38,958
固定資産合計	223,362	223,476
資産合計	342,560	339,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,657	19,268
1年内返済予定の長期借入金	2,542	2,517
未払法人税等	2,750	1,044
未払金	15,656	16,538
販売促進引当金	160	168
その他	6,812	6,552
流動負債合計	46,579	46,090
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	10,273	9,014
退職給付引当金	1,018	968
役員退職慰労引当金	117	128
その他	6,707	6,447
固定負債合計	68,116	66,559
負債合計	114,695	112,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	130,655	129,559
自己株式	△25,764	△25,764
株主資本合計	229,195	228,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,703	△1,603
その他の包括利益累計額合計	△1,703	△1,603
少数株主持分	373	351
純資産合計	227,864	226,845
負債純資産合計	342,560	339,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	189,933	184,300
売上原価	97,331	93,580
売上総利益	92,602	90,720
販売費及び一般管理費	86,587	87,562
営業利益	6,014	3,157
営業外収益		
受取利息	34	42
受取配当金	164	137
負ののれん償却額	207	—
持分法による投資利益	179	—
その他	264	268
営業外収益合計	851	449
営業外費用		
支払利息	348	316
持分法による投資損失	—	3
固定資産除却損	305	130
その他	194	70
営業外費用合計	849	520
経常利益	6,016	3,086
特別利益		
固定資産売却益	382	—
投資有価証券売却益	49	—
特別利益合計	431	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	31
災害による損失	18	—
たな卸資産処分損	483	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	726	—
特別損失合計	1,228	31
税金等調整前四半期純利益	5,219	3,054
法人税、住民税及び事業税	950	920
法人税等調整額	1,885	1,118
法人税等合計	2,835	2,039
少数株主損益調整前四半期純利益	2,384	1,015
少数株主利益	20	11
四半期純利益	2,363	1,003

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,384	1,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△772	96
持分法適用会社に対する持分相当額	5	2
その他の包括利益合計	△766	99
四半期包括利益	1,617	1,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,596	1,102
少数株主に係る四半期包括利益	20	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,219	3,054
減価償却費	10,383	10,073
のれん償却額	1,348	1,321
負ののれん償却額	△207	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,494	△41
前払年金費用の増減額 (△は増加)	4,538	598
受取利息及び受取配当金	△199	△180
支払利息	348	316
持分法による投資損益 (△は益)	△179	3
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△49	—
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	—	31
固定資産売却損益 (△は益)	△393	△1
固定資産除却損	235	85
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,083	△1,942
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,625	△8,433
その他の資産の増減額 (△は増加)	406	△173
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,103	611
その他の負債の増減額 (△は減少)	△695	△933
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	726	—
その他	233	176
小計	17,622	4,577
利息及び配当金の受取額	193	184
利息の支払額	△352	△319
法人税等の支払額	△1,878	△3,230
法人税等の還付額	431	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,017	1,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,189	△9,512
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	4,149	20,811
固定資産の取得による支出	△11,027	△12,476
固定資産の売却による収入	1,447	15
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	553
長期貸付けによる支出	△21	△125
長期貸付金の回収による収入	166	287
定期預金の預入による支出	△114	△655
定期預金の払戻による収入	205	270
その他	△1	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,384	△815

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,283	△1,283
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△1,999	△2,099
少数株主への配当金の支払額	△6	△33
その他	△1,498	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,790	△3,710
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,842	△3,296
現金及び現金同等物の期首残高	37,434	34,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,276	31,267

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	清涼飲料事業 (百万円)	健康食品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高				
外部顧客への売上高	172,175	16,952	805	189,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	172,175	16,952	805	189,933
セグメント利益	3,951	2,051	11	6,014

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	清涼飲料事業 (百万円)	健康食品事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高			
外部顧客への売上高	165,853	18,447	184,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	165,853	18,447	184,300
セグメント利益	420	2,737	3,157

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「その他事業」を営んでいた中国ピアノ運送株式会社は、平成24年1月31日付で当社が所有する全株式を売却したことに伴い、平成24年1月1日をみなし売却日として連結の範囲から除外しております。この影響により、「その他事業」の資産はなくなりました。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

上述の中国ピアノ運送株式会社の株式の売却に伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「清涼飲料事業」、「健康食品事業」、「その他事業」の3つの報告セグメントから、「清涼飲料事業」、「健康食品事業」の2つの報告セグメントに変更しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。